

周南・山口

働き方改革 職員提案



「業改ウォッチ」バッジの付いた名札や賞状を手に
喜ぶ、久富さん(左)、上山さん(中)、三好院長

344人が働く同院では女性が約8割。結婚後の女性職員の離職を防ぐことが大きな課題となっている。対策として、院内に託児所を設け、子どもが小学校4年になるまで短時間勤務を認めるなど働きやすい職場づくりに力を入れる。部署ごとに職員の提案で業務改善の取り組みも進め

る。例えば、リハビリ技術科は毎月第3週を早帰り週間に定めたが、成果が上がらなかつたため、同科の上山正範

344人が働く同院では女性が約8割。結婚後の女性職員の離職を防ぐことが大きな課題となっている。対策として、院内に託児所を設け、子どもが小学校4年になるまで短時間勤務を認めるなど働きやすい職場づくりに力を入れる。部署ごとに職員の提案で業務改善の取り組みも進め

る。取り組みの成果で、全職員の残業の平均時間が5年前に比べ1割近く減少したという。三好正規院長は「職員の創意工夫のアイデアで魅力ある職場づくりを進めていきたい」と力を込める。

「6時だよ全員終了!」「業改ウォッチ」

阿知須共立病院 知事同盟が表彰

山口市阿知須の阿知須共立病院が働き方改革に積極的な事業所として、山口や広島など14県知事でつくる「日本創生のための将来世代応援知事同盟」が表彰した。早帰りを促す取り組みに「6時だよ全員終了!」と銘打つて浸透を図るなど、職員提案のユニークな試みが評価された。

(佐藤慶佑)

さん(40)が早帰りに「6時だよ」のネーミングを提案。院内で評判となり、他の科にも広がった。上山さんは「みんなに浸透して効果が上がれば、うれしい」と喜ぶ。

また、残業を減らしたり、効率的な働き方を工夫したりするなど、業務改善レベルに応じ色分けしたバッジを職員に配布。人気アニメにちなみ「業改ウォッチ」バッジと命名する。栄養科の久富好美さん(31)は「職場が頑張って定時に帰ろうという気持ちになつた」と話している。

防長本社 ☎ 0833(922)0451 FAX(923)32882
周南支局 ☎ 0834(21)3571 FAX(27)12915
下松ステーション ☎ 0833(45)2662
光ステーション ☎ 0833(74)2560

身近な情報をお寄せください